

ジオ学習を終えて～伊東市立富戸小学校の取組み～

城ヶ崎海岸小学生ジオツアーの様子



津波石からペリドットを探す参加者



城ヶ崎の成り立ちを説明する児童

総合的な学習の時間では「目指せ！富戸博士～富戸の魅力を追求しよう・発見しよう～」という学校全体のテーマを受けて、6年生は「名ジオツアーガイド」となるという大きな目標を掲げて学習を始めました。

6月には、ジオパーク推進協議会の協力を得て、柱状節理やスコリア丘のでき方等の実験を行い、ジオに興味を持ちました。また、伊豆半島の成り立ちをビデオで見て、プレートの移動や噴火を繰り返す中で半島が形成されていったことを知ることもできました。

7月には、実際に城ヶ崎海岸に出かけ、ジオガイドの方の説明を聞くことで、写真だけでは分からなかった大きさを感じ、ペリドット（かんらん石）探しにも夢中になっていきました。

自分たちの地域にすばらしいジオの宝物があることを知り、深く調べてみたいという思いと課題を見つけることができました。

2学期には、課題解決のためにインターネット等を活用して情報を収集し、内容をまとめる学習を進めました。そこでは、ジオガイドをするためには何が必要かを話し合い、友達とパンフレットにまとめていくこととなりました。

その後、弁天島、爪木崎等を見学し城ヶ崎との違いに気づき、1月には大室山山頂から溶岩の流れの跡を見て、富戸がどのように形成されたかを伺い知ることができました。

2月15日、苦労と工夫を重ねて完成したパンフレットを用いて、ついに、いがいが根周辺やポットホールを紹介等のジオガイドツアーを実施しました。子どもたちは、少しでも自分たちが住む城ヶ崎（伊東）の良さを伝えようと意欲的に活動する姿が見られました。

これら1年間の活動を通し、子どもたちが地域を好きになり、多くの力を身につけられたと思います。（文：伊東市立富戸小学校 安保）

子ども観光大使「伊豆半島からわかる地球のこと」

「ふじのくに」の良さをいっぱい体験し静岡の良さを発信する子ども観光大使の講座を1月20日にジオリアにて開催しました。

伊豆の面白さを学んでもらい他の地域へ行くきっかけ作りとして、ジオを学ぶ導入として、「伊豆半島はどうやってできた？地球の不思議を伊豆で学ぼう！」をテーマに県内各地から子ども達が集まってくれました。

参加してくれた子ども達は、年齢も住んでいる地域も違うことから伊豆半島に限定した話でなく、火山をはじめとした地球の不思議や水の作用について、映像や実験を交えながら楽しく学んでもらいました。

参加した子ども達からは、「伊豆半島の誕生や富士山の噴火について知ることができて良かったです。」「火山噴火の仕組みがわかりました。コーラとメントスでの実験が良かったです。」といった感想が多く寄せられました。また、「伊豆半島の山の名前がわかった。いろいろなジオパークが知りたくなった。」「地層や火山のことに興味があったので、とても良い機会になりました。」といった頼もしい感想もありました。



実験などで自然のひみつにせまる



チョコレートで縄状溶岩を再現

三島市のジオを実験で再現

富士山の日2月23日、三島市の楽寿園で開催された富士山いただきマルシェに出展し、ジオパークを身近に感じてもらうイベントを行いました。

富士山の溶岩が形づくった三島市では、流れついた溶岩の痕跡を楽寿園などで見るすることができます。そのうちの一つである、外側の冷えた溶岩を中の熱い溶岩が押すことによってできた「縄状溶岩」をチョコレートを使って再現する実験に挑戦してもらいました。実験を楽しんだ後は、園内で実物を探してもらおうとスタンプラリーを行い、大地の力を感じてもらいました。

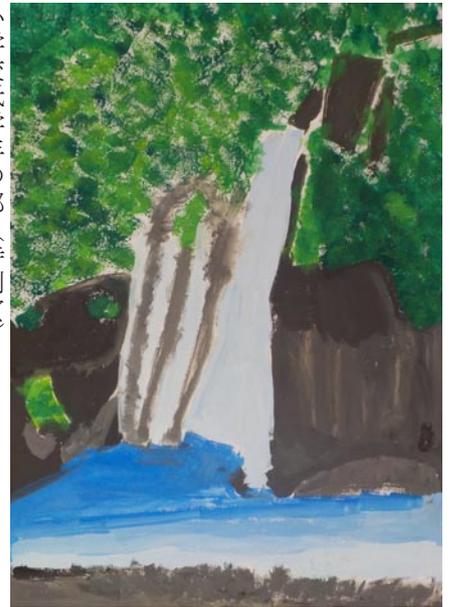
このようなイベントが、身近な場所や地域で大地の息遣いが感じられ、そのうえで生活していることを知る機会になればと思います。

ジオパーク子ども絵画コンクール作品紹介



小学校低学年の部（特別賞）
作品名「ようがん神社」
描いたジオサイト「割狐塚稲荷神社（長泉町）」

小学校低学年の部（特別賞）
作品名「はじめて見たおおだる」
描いたジオサイト「河津七滝・大滝（河津町）」



小学校高学年の部（特別賞）
作品名「そびえ立つ」
描いたジオサイト「浮島海岸（西伊豆町）」



小学校高学年の部（特別賞）
作品名「大室山の夏」
描いたジオサイト「大室山（伊東市）」

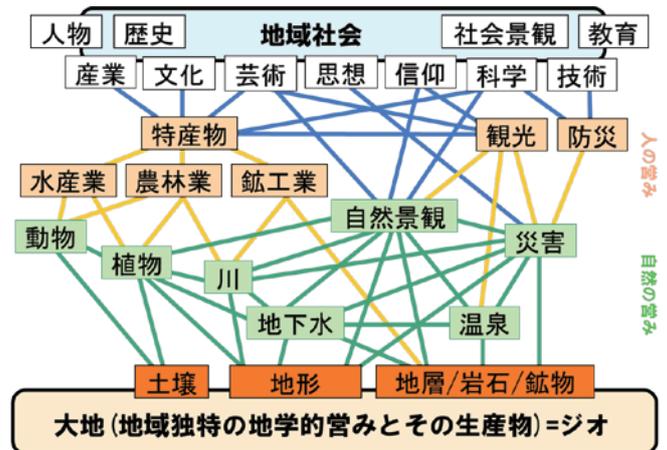
ジオパークから学ぶこと

ジオパークと聞いて、地学や地理、地層などの難しい話、専門的で難しいことだと思っている方が多いのではないのでしょうか。たしかに、ジオパークでは貴重な地形や地質があることが前提となりますが、右図にあるように大地であるジオと結びついている自然や、大地と人々の暮らしの関わりを考えることも重要だとされています。

伊豆の美しい景色は、どうやってできたのか

どうして伊豆では、〇〇な産業が発展してきたのか

山がちな伊豆でも、平らな場所に住めるのはなぜか
ジオパークでは、このような疑問について、考えたり学んだりすることができます。あたりまえに接している風景や、あたりまえの日常が大地と密接に関わっていることを知ると考え方が少し変わるかもしれません。ジオパークで大地や地域のことを学んでみませんか？



大地と地域社会のかかわり

編集後記

感じ方は人それぞれですが、ジオパーク学習をとおして地理や地学が好きになった人、地域の魅力に気づいた人、まわりにある風景の素晴らしさに驚いた人など、何かを感じていただけたのではないかと思います。進学や就職など変化のある季節ですが、ジオパークをとおして感じたことを忘れずに今後も生活してもらいたいと思います。そして、何かの機会に「あの時、こう教えてもらった」など伊豆の良さを思い出してもらいたいと思います。少子高齢化、人口減少が課題となっている地域ですが、これからの担う若い世代が地域に誇りを持てるような教育のお手伝いをジオパークができればと思います。（事務局 松永）